



MARÍA PAGÉS  
UTOPIA

『この作品でフラメンコは、歌、踊り、音楽、表現に至るまで、  
オペラのような総合芸術に近づいたと言える』

PERIODISTA DIGITAL

©David Ruano

2013年5月18日(土)18:00、19日(日)15:00

Bunkamura オーチャードホール

S席 ¥12,600/A席 ¥10,000/B席 ¥7,000 (全席指定・税込)

Bunkamura チケットセンター 03-3477-9999 (10:00~17:30) チケットカウンター 10:00~19:00

オンラインチケット <http://www.bunkamura.co.jp/online/> (PC・携帯共通) ※事前登録必要

イープラス: <http://eplus.jp/utopia/> (PC&携帯)

チケットぴあ: 0570-02-9999 (Pコード: 425-138)

<http://pia.jp/t/mariapages/> (PC&携帯) チケットぴあ、セブン・イレブン、サークルK・サンクス各店舗

ローソンチケット: 0570-084-003 (Lコード: 36777) 0570-000-407 (オペレーター対応)

<http://l-tike.com/maria/> (PC&携帯) ※PCは座席選択可

主催: Bunkamura 後援: スペイン大使館、セルバンテス文化センター

お問い合わせ: Bunkamura TEL: 03-3477-3244 (10:00~19:00) <http://www.bunkamura.co.jp/>

チケット  
好評  
発売中!!

現代フラメンコ最高峰のダンサー マリア・パヘス2年ぶりに来日!!

MARÍA PAGÉS  
UTOPIA

マリア・パヘス舞踊団「ユートピア」

今までに観たことのない  
ドラマチック・フラメンコ降臨!



美しい時代へ — 東急グループ

MARÍA PAGÉS

# UTOPIA

~ユートピア~

『舞台上のすべてが華々しく見事な美しさに溢れている。  
このビエンナル・デ・フラメンコ\*2012で披露された大作の一つだ!』

ABC紙 ※2年に1度、セビージャで行なわれるフラメンコ・フェスティバル

『マリアの表情のある腕の動き、見事な足のリズム、  
彼女は単純なフラメンコダンサーの枠を超えたダンサーだ!』

LA VANGUARDIA紙

## マドリッドで15日間連日満員御礼の 最新作 UTOPIA いよいよ日本初上陸!!

マリア・パヘスの踊りには、いつもドラマが散りばめられている。それは、時に戦火の影響を受けながらも生きる人々の姿だったり、舞踊団を結成した自分を支えてくれた仲間達の姿だったり…。観る者をそのドラマの中に引き込み、人生を振り返らせる天才的なアーティストである。ブラジル人建築家のオスカー・ニーマイヤーにインスパイアされて作られた最新作『UTOPIA ~ユートピア~』は、マリア・パヘス自身が文献や参考資料をあたり、構想から2年の歳月を費やして作られた超大作。「人類には階級などなく、私たちはみな同じ、一つの地平線上に立っているのだということをおスカーは私に思い出させてくれた」と語るマリアの言葉通り、人間讃歌であると同時に、現実にも目を向け、希望を持って苦難へと立ち向かう者達への応援歌となっている。しかし、「なんだか高尚だな…」と怯むことはない。マリアが持つエンターテインメント性は健在。7名のダンサーたちが、体中に鳴り響くようなサバテアードのリズムを奏でる。さらに、総勢7名による生の演奏も聴きごたえあり!アレグリアス、タラント、ファルーカなど伝統的なフラメンコのナンバーの他に、ブラジル人シンガー・ソングライターのフレッド・マルティンズのオリジナル曲などのナンバーも見物!スペイン、ニューヨーク、オーストラリア、世界各地で大好評を博した最新作、いよいよ日本上陸!!



### 1. UTOPIA

『ユートピア』

Music: フレッド・マルティンズ

### 2. DIÁLOGO

『会話』

Music: アイザック・ムニョス

### 3. TIEMPO ROTO

『壊れた時』

(トリージャ、ソレア)

Text: 「亡命」バプロ・ネルーダ、  
「ドン・キホーテ」より ミゲル・デ・セルバンテス、  
『鳥の歌』カタルーニャ民謡

### 4. CONCIENCIA Y DESEO

『意識と欲望』

(グラナイーナ、ロンデーニャ)

Text: 「ボエム(詩)」ラルビ・エル・アルティ

### 5. VAMOS JUNTOS, COMPAÑERO

『一緒に行こう、仲間たち』

(デブラ、マルティネーテ)

Text: 「一緒に行こう」マリオ・ベネデッティ

### 6. CAMINO ROJO

『赤い道』

(タラント、マルティネーテ)

Text: 「旅人よ、道はない」アントニオ・マチャード

### 7. ES AHÍ DONDE QUIERO VIVIR

『そこが住みたいところ』

(グアヒーラ、タンゴ)

Text: 「穏やかな生活」オスカー・ニーマイヤー

### 8. ELEVACIÓN

『飛翔』

(アレグリアス)

Text: 「飛翔」シャルル・ボードレル

シディ・ラルビ・シェルカウイ (振付家)

マリアに初めて会ったのは2004年。出会った瞬間から、彼女の素晴らしい人生経験と美しさ、才能、ユーモアのセンスに魅了されました。マリアとは「Dunas」(2009)を共同制作したのですが、彼女はどんなことにおいても、常に全身全霊を込めて行なっていました。そのような努力があるからこそ、彼女の作品には、どんな固定観念をも吹き飛ばしてしまうような、エネルギーに満ち溢れているのでしょう。そして、エレガントで魅惑的な腕の動きと、見事な足のリズムによって、どんなステージをも圧倒してしまうのです。ダンススタジオであれ、ステージであれ、彼女の踊りを見ることができるのは、常に光栄なことであり、限りない喜びです。

### マリア・パヘス

María Pagés

(ダンサー、振付家)

15歳からアントニオ・ガデス舞踊団に入団し、その後も様々なカンパニーで主演ダンサーとして活躍。1990年に、自身の舞踊団María Pagés Companyを設立、振付家としての才能も開花。1994年には、アイリッシュダンスの「リバーダンス」で主演ダンサーとして出演、世界的な人気を博した。ドラマチックでスタイリッシュなフラメンコスタイルは、日本にもファンが多い。



ダンサー: マリア・パヘス、イサベル・ロドリゲス、マリア・ベガ、エヴァ・ヴァレラ、ホセ・バリオス、ホセ・アントニオ・フラド、パコ・ベルベル、ルーベン・プエルタス/ミュージシャン: アナ・ラモン、フアン・デ・マイレーナ、ルーベン・レバニエゴス、ホセ・アントニオ「フィティ」カリージョ、ホセ・マリア・ウリアルテ、セルヒオ・メネン、フレッド・マルティンズ

知っている面白い! フラメンコブチ解説

「バイラオール/バイラオーラ」  
フラメンコダンサーのこと。男性の踊り手はバイラオール、女性の踊り手はバイラオーラ。

「カンテ」  
フラメンコの歌のこと。カンテ(歌)、トーケ(ギター)、バイレ(踊り)が、フラメンコの三大要素と言われている。

ちなみに歌い手のことには、男性がカンタオール、女性がカンタオーラと呼ぶ。

「パタ・デ・コーラ」  
後ろの裾が長く引きずるような形のスカート。フラメンコ衣装の一つ。

前作「MRADA」では、マリア自らがデザインしたパタ・デ・コーラを披露。聖なる樹オリブをイメージして作られたそれは、なんと重さ10キロもあった!

「サバテアード」  
足の裏で床を叩く技術のこと。ゴルベ(足の裏全体)、タコン(かかと)、ブンタ(つま先)などで床を叩き、リズムを生み出す。

「ファルーカ」  
スペイン北部ガリシア地方起源の曲で、男性によって踊られることが多い、フラメンコの曲種の一つ。

「UTOPIA ~ユートピア」  
ここでは、最後の踊りの際に使用されている。

「アレグリアス」  
喜びを表現する、フラメンコの曲種の一つ。

「アレグリア(ALEGRIA)」  
「喜び」が語源。

「UTOPIA ~ユートピア」  
ここでは、最後の踊りに使われる大きめの扇。日本の扇子がスペインに伝えられたのが起源という説もある。

「ハリージョ」  
フラメンコの踊りに使用されるカスタネットのこと。両手の親指に紐を掛け、叩きながら踊る。

マリアは、小さな頃からハリージョが大好きで、家の中で一日中叩いていた。